



学習指導改善事業を生かすために

研修担当理事 瀧 沢 則 夫

今年度から学習指導改善調査がすべての小学校で実施されることとなりました。「なかなか難しい。今までにやったことのない問題だ。」などの声が聞こえてきます。担任は、採点しながら「今まで、こんな考え方は指導してこなかったよ。」などと、大いに反省します。この作業が授業改善の出発点です。だから自己採点なのです。

事業の目的には「その後の学習指導の改善に資する。」とあります。そのために県小教研では、「校内研修の手引き」を作成しました。この活用が大切です。

「4年『わり算問題について』では、わり算とは『どのような意味なのか』『どのような場面で使うことができるのか』『どのような計算なのか』ということについて、具体的な操作や話し合いなどの算数的活動を通して学習する必要があります。」と述べています。そして、わり算の意味、等分除と包含除の違い、等分除・包含除のキーワード、わり算の意味理解を確実にするためになどについて、丁寧に解説しています。

大学の教科教育の先生が、目を通し助言していただいているだけあって、内容の濃いものになっていると自負しています。この手引きに基づいて授業を実践していくことで、子どもの思考力・判断力、表現力は格段に伸びていくことが期待されます。

いくつかの小学校では、夏季休業中の校内研修に取り上げ、手引きを読み取って理解を深めています。国語や算数の専門家でない教員もいる小学校では、こうした研修は授業改善を進める上で極めて重要な営みであると考えます。県小教研が主張する「授業を変えよう！」が、ここから具現していくものと期待しています。

平成18年度新潟県小学校教育研究会役員

平成18年度役員の方々は、次のとおりです。

会 長	江端 周二 (新潟・新潟小)	理 事	瀧沢 則夫 (十日町・十日町小)
副会長	金森 和夫 (長岡・希望が丘小)	〃	笹川 恵美子 (上越・春日小)
〃	村山 信一 (上越・高志小)	〃	山田 裕信 (小千谷・小千谷小)
理 事	伊藤 順治 (新潟・御免町小)	〃	山岸 文夫 (長岡・表町小)
〃	庭野 和男 (新潟・桜が丘小)	〃	本多 博行 (新潟・新津第一小)
〃	高橋 幸雄 (長岡・阪之上小)	監 査	恩田 正身 (糸魚川・糸魚川小)
〃	廣田 文雄 (柏崎・比角小)	〃	小西 邦明 (見附・見附小)
〃	小林 美智 (新潟・関屋小)	〃	吉田 教悟 (長岡・脇野町小)
〃	内藤 守 (上越・大町小)	幹 事	橋本 定男 (新潟・鏡淵小)
〃	渡辺 伸栄 (村上・村上小)	〃	小松 隆 (新潟・鳥屋野小)
〃	末崎 和成 (新潟・上所小)	〃	井上 幸直 (五泉・五泉小)
〃	角張 修 (妙高・新井中央小)		

・6月の第1回評議員会において承認されました。